



生物多様性センター

Biodiversity Center of Japan

第3号

2001.8.15

ニュースレター

CONTENTS

| | |
|--------------------------------|---|
| インターネット自然研究所がオープン | 1 |
| J-IBIS データ公開項目を追加・バージョンアップ | 3 |
| 身近な林調査実施中 | 3 |
| 巨樹・巨木林フォローアップ調査について | 4 |
| 2001年度生物多様性センター活動計画 | 4 |
| センターの動き、人の動き、来館者 | 5 |
| 生物多様性まつり 生物多様性ってな～に？ ズックが教えます！ | 6 |

インターネット自然研究所がオープン

7月20日、環境省は全国の自然を身近に感じてもらうための仮想の情報機関として、平成12年度補正予算により整備が進められてきたインターネット自然研究所を公開しました。これは、利用者に有益な自然情報を豊富に提供することにより、わが国の自然環境の現状や自然環境を保全するための施策について十分に知ってもらうことを目的としています。(次ページへ)



URL : <http://www.sizenken.biodic.go.jp/>

インターネット自然研究所

インターネット自然研究所の各コンテンツは環境省自然環境局の各課室や自然保護事務所等が分担して企画・作成にあたり、生物多様性センターにおいては、センター内にサーバ類を増設し、コンテンツ更新等の管理運営をしています。またインターネットの他遠隔操作カメラ、GIS(地理情報システム)、GPS、次世代携帯電話、マルチビジョンなど様々なIT技術を活用しており、その概要は以下のようなものです。

①全国各地の自然のライブ映像の提供

全国40箇所以上に設置したモニタリングカメラ等により、尾瀬や屋久島などの国立公園の風景や釧路のタンチョウなど野生動物の様子の最新映像(原則として日中1時間更新)をインターネットや携帯電話を通じて見ることができます。これらの画像は、過去5年分が画像データベースとして保存され、利用者は見たい日を任意に選んでその日の画像を見ることができます。



②四季のいきもの前線調査

インターネットや携帯電話を用いて桜の開花やモミジの紅葉などの自然の変化に関する情報を利用者が投稿することにより、桜前線や紅葉前線などの生物季節の変化をリアルタイムに把握し、公表できる調査集計システムです。投稿データはGISにより位置情報として管理され、前線の進行状況を地図上で確認することもできます。また、各調査テーマに関連する環境学習ページも用意しています。



③屋久杉自然館マルチビジョンシステム

迫力ある大画面の映像を見ることができる100インチ4面マルチビジョンシステムをビジターセンター等に設置し、マルチビジョン専用ホームページを見ることができます。第1号は、世界自然遺産を有する鹿児島県屋久町と環境省との連携モデル事業として、屋久町立屋久杉自然館に導入しました。

④モバイルによる自然環境セルフガイドシステムの研究・開発

次世代携帯電話の大容量通信機能とGPS位置情報表示機能の活用により、来訪地点の最新の自然情報を得ることができるモバイルによるセルフガイドシステムを研究・開発します。将来的には山岳地における登山情報の提供を目標としていますが、モデルシステムの研究・開発は、次世代携帯電話が最初に導入される東京都心の新宿御苑において行います。

⑤豊富な自然情報の提供

絶滅のおそれのある野生生物の電子図鑑、屋久島と白神山地の世界自然遺産情報、国際的な渡り鳥ネットワーク情報、日本に生息する猛禽類の電子図鑑、全国の自然ふれあい施設情報、国立公園の最新利用情報など環境省ならではの各種コンテンツを幅広く提供します。

インターネット自然研究所のコンテンツに関しては、今後とも様々な意見を取り入れ一層の充実を図っていく予定です。



データ公開項目を追加・バージョンアップ

生物多様性センターでは1998年6月の開所以来「生物多様性情報システム」(J-IBIS)の構築をすすめ情報を公開してきましたが、この度ナビゲーションシステムを導入するとともに、以下のデータ(システム)の追加とバージョンアップを行いました。(URL <http://www.biodic.go.jp/J-IBIS/>)

【データを追加・バージョンアップする項目】

- 維管束以外植物 RDB 種検索 (追加)
- 植物公開種 (408種) メッシュ情報 (追加)
- 第5回植生調査
- 第2回特定植物調査
- 第3回特定植物調査
- 第5回特定植物調査
- 維管束植物 RDB 種検索(バージョンアップ)
- 地域検索(市町村単位のデータ検索が可能に)

専門家のページからダウンロードできるようにしました

【現在データを公開している項目】

- 植生自然度図 (県別、3次メッシュデータ)
- 特定植物群落分布図 (県別、秘区分を除く)
- 巨樹・巨木林分布図 (県別)
- 動植物分布図 (全国2次メッシュ、保全の観点から一部データを除く)
- 湿地分布図 (県別)
- 藻場・干潟分布図 (県別)
- ほか

今後も、より多くのユーザーに利用しやすい、日本の自然環境データの配信を行っていく所存です。なお、J-IBIS についてのご意見、ご要望につきましては、webmaster@biodic.go.jp まで。

身近な林調査 実施中

春の調査 3～5月。

タンポポ、黄色い花の調査にご協力ありがとうございました。

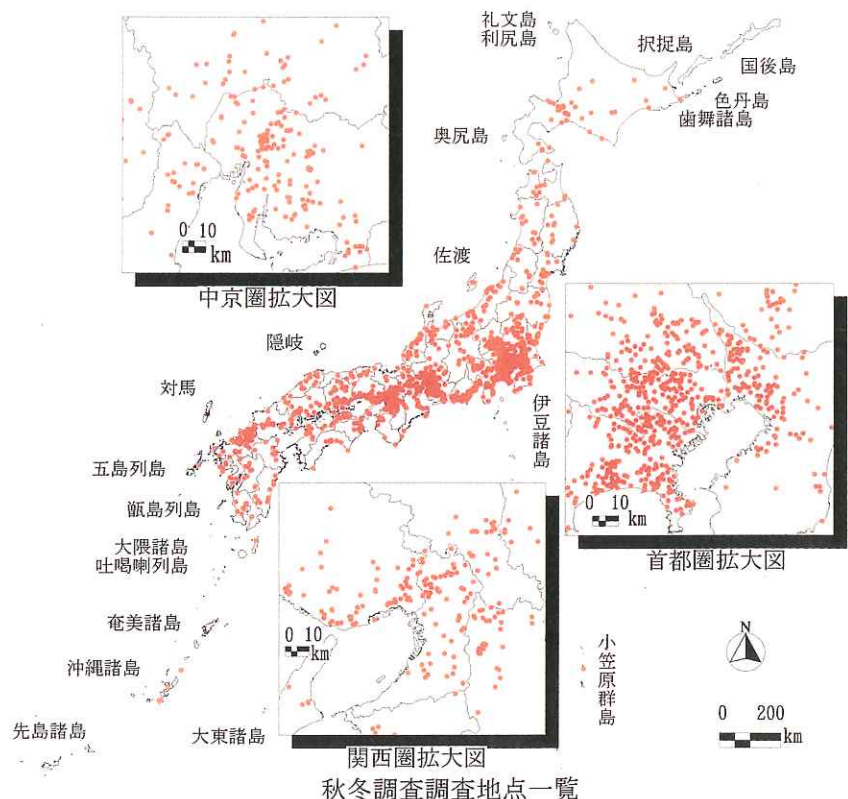
夏の調査 7、8月。

セミのぬけがら、夏の虫の調査を実施中です。

春の調査ができなかった方も夏の調査に是非ご協力下さい。

右の図は2000年 **秋冬調査**の調査地点です。詳しくは Web page をご覧ください。

<http://www.biodic.go.jp/mijika/index.html>



秋冬調査調査地点一覧

本地図は参加者の皆様からお送り頂いた秋冬調査票データをもとに調査地点を地図上に示したものです。なお、ご覧になるにあたり以下の点にご注意ください。(調査地点数:2306地点)

- ・本データは現在、精査中につき、一部にまだ調査地点を示されていないものもあります。
- ・調査地点を示す凡例「●」は調査地の面積を示すものではありません。

第6回自然環境保全基礎調査

巨樹・巨木林フォローアップ調査について

第6回自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）の一環として実施してきた「巨樹・巨木林フォローアップ調査」の結果をとりまとめました。

この調査は、昭和63（1988）年に初めて実施された「巨樹・巨木林調査」で報告された55,798本の巨木の現況及び前回調査以降新たに発見・調査された巨樹・巨木林の現況を把握するために、平成12（2000）年に全国の市町村及び全国巨樹・巨木林の会（会長 伊藤秀三長崎大学名誉教授）の会員に協力を呼びかけて行ってきました。

調査対象は、原則として地上から1.3mの高さでの幹周りが3m以上の木としましたが、今回の調査では幹周り3m以上に育ちにくい樹種（ツバキ、マユミなど）については、3m未満でも調査対象としました。

調査の結果、1,661市町村（回答率51%）と全国巨樹・巨木林の会会員などの一般の方から回答があり、10,367本の巨木が新たに報告される一方、枯死・伐採等により失われた巨木が1,660本報告され、全国の巨木総数は64,479本となりました。

今回の調査では、前回調査では報告の少なかった山岳部・離島から数多くの報告があり、ブナ、スダジイ等の樹種で国内最大級の巨木が確認されたことが特徴的でしたが、未発見の巨木が多数存在することも推定されました。

今後、地域づくりや環境教育等と連携した巨木の保全・活用方策の推進に資する目的で、調査結果の概要及び最新の巨木リストをインターネットで公開するほか、調査結果の概要をまとめた小冊子を調査協力者等に配布する予定です。

表 今回新たに報告された国内最大級の主な巨木たち

| 樹種名 | 呼称（所在地） | 幹周（cm） |
|------|---------------------|--------|
| カツラ | 権現山の大カツラ（山形県最上郡最上町） | 2,000 |
| スダジイ | 御蔵島の大ジイ（東京都御蔵島村） | 1,379 |
| ブナ | ブナ日本一（秋田県仙北郡角館町） | 860 |
| ミズナラ | なし（秋田県仙北郡角館町） | 1,130 |

2001年度 生物多様性センター活動計画

- ・ 自然環境保全基礎調査
 - 植生調査 1 / 25,000植生原図を請負により335面整備
 - 身近な生きもの調査 身近な林 夏調査（セミのぬけがら、夏の虫調査）実施（3ページ記事参照）
 - 湿地調査 海域湿地の現地調査を昨年度に引き続き実施
- ・ 海域自然環境保全基礎調査 海棲動物調査とりまとめ
- ・ 生物多様性調査
 - 種の多様性調査
 - 鳥類生息分布調査 繁殖分布調査 現地調査最終年度
 - 哺乳類分布調査 ツキノワグマ、ヒグマ、シカ、ニホンザル、イノシシについて聞き取り調査実施
 - 生態系多様性地域調査
 - 富山県大蓮華山地域 動植物分布、地形地質等昨年度に引き続き調査
 - 山梨県富士北麓地域 種目録の作成を主目的に今年度より2年計画

センターの動き 2001年2月～7月

- 2月13日 植生調査作業部会 (於：東京・航空会館)
- 21日 自然環境保全基礎調査都道府県担当者会議 (於：東京・航空会館)
- 3月5日 第1回生物多様性国家戦略懇談会 (於：東京・東海大学交友会館)
- 13～14日 巨樹・巨木国際シンポジウム (於：宇都宮市)
- 23日 第6回自然環境保全基礎調査検討会 (於：経済産業省別館)
- 25～27日 こども巨木サミット (於：岩手県・二戸市)
- 4月10日 第2回生物多様性国家戦略懇談会 (於：東京・東海大学交友会館)
- 5月5日 土日の開館を開始 (～10月28日)
- 5月21日 第3回生物多様性国家戦略懇談会 (於：東京・東京會館)
- 31日 身近な生きもの調査 春の調査 調査票返送締め切り
- 6月2～3日 エコライフ・フェア (於：東京・代々木)
- 7月20日 インターネット自然研究所運用開始
- 23日 第4回生物多様性国家戦略懇談会 (於：東京・東京會館)
- 24日 生態系総合モニタリング分科会 (於：東京・環境省会議室)

人の動き 2001年4月

〈転出〉

| | | |
|-----------|--------|-----------------------|
| 総括企画官 | 池田 善一 | (中部地区自然保護事務所次長へ) |
| 情報システム企画官 | 乙井 康成 | (国土交通省大臣官房技術調査課課長補佐へ) |
| 管理科長 | 柳田 敏久 | (大臣官房会計課庶務係長へ) |
| 事務補佐員 | 伊藤 雅美 | (退職) |
| 事務補佐員 | 曳地 富士美 | (退職) |

〈転入〉

| | | |
|-----------|--------|--|
| 総括企画官 | 堀上 勝 | (自然環境局自然環境計画課調整専門官から ・自然環境局自然環境計画課課長補佐兼任) |
| 情報システム企画官 | 鵜野沢 茂 | (国土交通省国土交通大学校教官から) |
| 管理科長 | 遊佐 秀憲 | (大臣官房会計課庶務係長から) |
| 事務補佐員 | 渡辺 みこ | (新規採用) |
| 事務補佐員 | 小林 真奈美 | (新規採用) |

来館者 2001年2月～7月

- ヨルダン王立自然保護協会会長 Irani 氏ら
- JICA カウンターパート研修 (コスタリカ、インドネシア)
- コスタリカ農業省 William Chavarria 氏ら
- 北海道環境科学研究所特別研究員 プホーオーツル氏ら
- JICA 湿地研修
- 砂漠化防止条約専門家会合視察
- 環境行政実務研修現地研修

ほかにも大勢のかたに、お越しいただきました。ありがとうございました。

生物多様性まつり

生物多様性ってな～に？

ズックが教えます！

WANTED!
さがして下さい！

イベントのある10日、
逃げ出すつもりですよ！



8月19日(日)

なまえ：ズックちゃん
しゅるい：オオコノハズク
せいぶつたようせい
いつもいるところ：生物多様性センター
とくちょう：センター内のあちこちで
生物多様性について教えてくれる

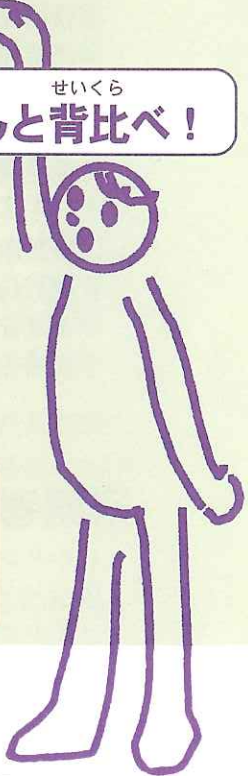
かんない
館内オリエンテーリング
ズックちゃんを探して問題に答えながら、
館内をめぐる。インターネットも使えます。

しぜんかんさつかい
自然観察会 センター周辺の林の中を散策します
〈参加費50円(保険料)・申し込み制〉 *60分*
1回目9:30~/2回目11:00~

ひょうほんさくせいこうしゅうかい
標本作製講習会 標本を作ろう！
〈無料です・申し込み制〉 *90分*
昆虫コース/植物コース
各コース 1回目10:30~/2回目14:00~

はくせいとくべつてんじ
剥製特別展示
普段は入れない、
特別収蔵庫にご案内します。

せいくら
タンチョウさんと背比べ！



えいがじょうえいかい
映画上映会「今森光彦の里山物語」
〈無料です・申し込み制〉 *50分*
1回目11:00~/2回目13:00~

梅雨なのに雨が降らず毎日富士山がよく見えます。お中道ではシャクナゲやイタドリ、オンタデがとてもきれいでした。(ま)



5月~10月は土・日曜日も展示室をオープンしています(9:00~17:00)

発行：環境省自然環境局生物多様性センター
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1
電話：0555-72-6031 FAX：0555-72-6032
URL <http://www.biodic.go.jp/>
e-mail newsman@biodic.go.jp